## 2022年度あかしSDGsパートナーズ実績報告書

様式 3

No. 54 キャタピラージャパン合同会社明石事業所

記入日 2023年(令和5年)4月4日

	2030年までに 達成したいこと	キャタピラーではSDG s 全17 石事業所として3つに特化し ①管理職全員がイクボス ( 員を応援・促進する) ②STE	」た活動に積極的に取 育児を自ら実行する、 M賞の運営、継続 ③紙	り組む。 育児する社 抵使用量削減			1 50%	2 mat // // // // // // // // // // // // //	3 PACOAL  -W+	4 FOALBRE	5 950×-+83	6 までなみととくと 記念集中に	7 this distance account to the control of the contr	8 50000	9 #Madirano
2.	取組の概要	①家庭内で家事・子育て等をで、企業内での多様な人財の②STEM分野で活躍するな ③廃棄物削減を目的にペー/	D活躍を促進する。 女性を応援する。				10 ACCOPTA 11 SACIONA SACOPTA		12 % 5 元	13 THERE	14 208055 2000	15 #0###################################	16 ##code	17 finit-burg	
4.	主な取組の達成な	<b>犬況</b>													
(1)	・男性育休座談会実施	施(育児休業取得者、育児休	①目標値			(	②当初值			③実			績値		
	カッション実施	ナてオンラインパネルディス	男性の育児休業取得 者累積数	10	名以上		4 名		22 名					100%	
	・育児休業マニュアル	νの準備 	2026年3月末時点まで				2020年			2022年			2023年		
(2)	・2022年度第5回実施。授賞式開催(2/23) ・学生に会う・大学訪問の際は宣伝・説明を継		①目標値				②当初値			③実			績値		達成度
	中・第6回に向けて宣伝	が問の除は宣伝・説明を継続 ・応募方法等につき改善案	STEM賞の継続実施	毎年1	回		1	回		1	回				20%
	検討中		2030年			2021年度			2022年度			2023年度			
(3)	ᄽᄪᅎᆿᄱᄼᄰᇒ	プロセスの日振ぬ(日本)	①目標値			②当初値			③実			<b>續值</b>			達成度
	・必要不可欠な承認。   ・物理的なハンコ文化  ・現場で必要な管理性		コピーの使用量 2021年度から削減 90 %												34%
			2030年			2021年度			2022年度			2023年度			
5.	取組結果	・男性育休取得の認知度向上(イクボス) ・社内での理解度向上・社外での認知度向上(STEM) ・事務所プロセスの帳票類見直し&現場管理帳票の電子化準備(紙)					団体名:キャタピラージャパン合同: 所 担当課:総務課 電 話:078-943-2111 メール:matsuda_chiyo@cat.com 担当者:松田 智世						会社明	石事業	
6.	・育児休業マニュアルの展開(イクボス) ・男性育休座談会継続開催(イクボス) ・応募者を増やす(STEM) ・効率的かつ誇りを持って運営する(STEM) ・現場へのタブレット普及(紙)						連携	希望	なし						